

第6回流域治水シンポジウム「アンケート」の集計結果

(回答数 53)

問1. 水害を体験したことがありますか。	問2. いつごろ、どこで体験しましたか。	問3. そのときの様子、行動を教えてください。
ある	平成12年	車のワイパーを最速で動かしても前が見えなかった。マンホールから噴水の用に水が噴き出していた。水が引いた後の悪臭がひどかった。あまり危機感がなかった。危険性をしらなかったから?
ある	平成2年 犬上川	車は水没。水引いた後は汚物が路面いっぱい
ある	昭和47年ころ 多賀町南後谷 土石流により 人家2戸が流失 平成2年9月19日台風19号により いてらの人家に土砂が入る(多賀町南後谷)	平成2年9月の台風19号は 近くの小学校に避難した。
ある	平成16年台風23号 兵庫県豊岡市円山川平の地区堤防決壊時 弊社 共和コンクリートとして、緊急 対応時	平成16年、国交省出張所の1階が水没し、指示系統が混乱し、堤防までの搬入受け取り手伝い平成24年 緊急 ブロック
ある	昭和25年ごろ 彦根市鳥居本町の川があふれて、道路全体が流失した。小さいころが思い出されます。	連日の大雨で山林の谷から川に流れ込んだ。私の家は高台にあったが戸奈良の家は天井まで泥が流れ込んだ。夜中の事なので家人が逃げるだけで精一杯だった。(小さいころの記憶による。)
ある	昭和25年頃、彦根市前後、ジェーン台風、長浜米川	床下浸水。隣の八百屋より果物が流れ、拾い集めて届けた覚えが小学時低学年の頃の思い出。
ある	時期は思い出せないが、甲賀市、甲賀町、甲南町水口町に渡る木山川と同地区の佐治川に豪雨による水害発生あり(台風時)	低地においては窓下まで溢れ、ロープによる老人の救助。消防の方の計らい
ある	平成2年9月19日に台風19号の大雨 愛知川の栗見新田地点から決壊する。	当時自治会長をしていて現場を見にいった時、竹やぶと堤防のたまりができていた所へ大雨でダムを開けたのでゴミや稲の刈り取り後のワラが竹の周囲にたまり水の流れを止めたので水が増水し堤防からあふれ堤防の裏側の畑にしていたところを洗い裏側から浸食していった。
ある	昭和25年 北九州 門司区丸山町 ジェーン台風?だったと思いますが、裏山が崩れ恐れ思いをしました。	自分の家は高台にあるので、家の被災は無かったが、大戸川の堤防が部分的に決壊し、低地にある家が床上浸水し、その家の家財道具を高い道路に運び上げた。
ある	昭和26年の水害時、紀ノ川の堤外に住む家族が私の家へ避難した。又、近くの花園村で、せきとめ湖ができ115人が湖の決壊で死亡 昨年の十津川も同じ紀伊山地で起こっており経験が生かせてない。	水と野菜を被災地へ持って行った。
ある	いつもは水流を感じない所にも多量の水量を各所で見つけられた。山川は見えやすいけれど瀬田川の浸食具合がどうか不安だった。けれどあわれたこの家族は大雨までに自主的に会館に逃げておられました。	2012年8月15日 石山外畑地区 被災された後で雨は上がっていた。途中で通行規制があり、土砂を仮置きする場と排出する動きがうまく計られ、ボランティア作業が早い目に切り上げられたあと業者が重機で行われていた。重要なことは町内の放送で、ゆっくりわかり易く知らされていた。被災された方々自身がたき出しや交通整理などにもあたり、土砂搬出路確保に努められていた。路線バスが長期間通じなかったので困られた方が多かった。代替措置がある。
ある	昭和34年の伊勢湾台風 野洲市小南(日野川が決壊で自室が床上浸水)幼児期により、あまり記憶はないが、	親戚の家へ避難する。外は一面、水浸しで家財道具を中二階に上げる
ある		
ある		
ある		
ない(35)無回答(3)		

<p>問 その他、シンポジウムへのご意見・ご感想を聞かせてください。</p> <p>■嘉田知事の説明はソフトですごくわかりやすかった。このような会に参加させて頂きましてありがとうございます。</p> <p>■大変に良かったです。又、開催してください。</p>
--

<p>■ 水害時の写真があればお送りします。わかりやすくいろいろな勉強させていただきました。</p>
<p>■ お話を聞いていろいろ学ばせていただきました。こういった事も100年～200年に一度かもしれませんが、お話を聞く事で理解ども増してくると思います。</p>
<p>■ 山門水源の森で保全とガイドをしています。山門も昔、土石流があり鈴木先生のお話興味深く聞かせて頂きました。シンポジウムで外畑の話聞き、たまたま知り合いが住んでいる所だったので、大丈夫だったか心配です。危機一髪で連携プレーが出来すばらしくおもしろかったです。</p>
<p>■ 滋賀県や近畿の過去の豪雨、災害事例をこのシンポジウムを通してレビューすることが大切です。滋賀の場合は先ずはM29年9月の10日で1000mm（1日で600mm）の彦根の観測所の観測データを「見える化」することが最優先。今となつては十津川大水害の雨の情報発信等を継続的に和歌山でやっておけば、今回の何人かの死亡者は助かっていたはず。 「7世代前まで過去を振りかえる必要性」</p>
<p>■ 基調講演の内、表層崩壊についてまるいち①土地所有者と利用方法（松と杉・桧と雑木）②土質（土の量と深さ 土の性質③岩盤の状況（岩石の種類）④寒冷（凍結） 霊水の量⑤外国人の土地所有制限①～⑤この点も総合的に考える必要</p>
<p>■ 本年の天津市南部豪雨で、高校の同級生が被災して、数日後に現地見舞いに行き、その被害の状況を目の当たりにし、防災 減災への心構えにつき認識を新たにしました。幸い個人的には70年以上も自宅前には一級河川があるが自然災害には遭遇しなかった事は奇跡に近いことだと思いますが、心構えだけは怠らざりたいと痛感する次第です。</p>
<p>■ 地先の安全度マップが出来てからの良い例、悪い例を次回に聞かせて欲しい。</p>
<p>■ 「ためる」ことについて民間事業に協力を求めることもひつようだが、行政側も遊休地を活用し施設を整備できないだろうか。地先のアンゼンドマップで、危険を察知することは大変であるが、将来的に過疎化を進めてしまう可能性はなからうか、若い人が住まなくなる。安心できる防災対策を実施することが必要であると思う。→認知させる施策。避難所におけるプライバシー対策は必要である。（特に女性トイレ）」</p>
<p>■ 基調講演のため仕方がないかもしれませんが、評論的になりすぎていたように思います。もう少し具体策等も話していただきたかった。パネルディスカッションでは具体例、具体策も発表され、大変良かったです。</p>
<p>■ 内容的に一般の方は少し難しい気がする。行政関係者らの勉強会的要素が強い。</p>
<p>■ 「将来、災害外力が高まってくると防災力が追いつかないとのことで、それを同埋めていくかがかだいである。」との話があった。ソフト・ハード両面が大切であるがハード面での役割も大きい。住民の安心安全のためにも是非必要なハード面の建設は進めていただきたい。</p>
<p>■ 内容については大変有意義なものでした。各お立場での経験・得られた教訓など情報を共有出来る機会は大切です。日本は予防原則の精神が根づくのを感じるが、リスクに向き合う覚悟、精神を養い育て健全な仕組みにつなげていけるよう、住民一人一人が成長したい。安心の哲学、からぶりを恐れない批判しないトップの覚悟が育った環境づくりを自分なりの役割を果たして生きたいです。 ありがとうございます。</p>
<p>■ このようなシンポジウムに参加しているはずの行政各関連部署の参加者紹介があれば、連携の様子も伝えられるのではないかと。（森林・河川・土木他…）各部署の職員が会場に出席していることを前提として…危険回避については、「ムダであった」ことが唯一許される場面</p>
<p>■ 基調講演で、土砂災害対策では森林を担当する所属との連携が必要なが分かった。リスク情報を公開してみんなで議論することが大切だと思った。</p>
<p>■ 勉強させていただきました。これからも継続、よろしく願いいたします。</p>
<p>■ 森林と土砂・水害災害との関係について総合的に理解できた。</p>
<p>■ 基調報告において、パソコンの不備により、講義に迷惑をおかけした。事前の準備を十分にされたい。</p>
<p>■ 自助、共助のことについて様々なことを知ることができました。</p>
<p>■ 鈴木先生のスライドが変更になっていたもので、資料がもらいたかったです。右のスライドでメモのようなものを出しておりましたが、あれは何でしょうか？パネルディスカッションはなかなか勉強になり良かったです。さらについで、パネラーの方に、キーワードなどを書いてもらって答えてもらうなどとすると分かり易いです。最初の機器のアクシデントは大変でしたね。</p>
<p>■ 毎年続けてください。最近の出水の目撃談、水被害の体験談を「水害の記録と記憶」に残してください。</p>
<p>■ 大津の土砂災害の生々しい情報が聞け有意義であった。水害と土砂災害は同時に起こるはずであるので、流域治水は土砂災害も重要なテーマであるのではないかと。</p>
<p>■ 大津市の豪雨災害の報告と長浜市の対策についてはかなり勉強になりました。ハードもソフトも大事です。知識は減害につながります。たくさんの人に関心を持ってもらえたいと思います。</p>
<p>■ 大津市南部豪雨被害とその経過の詳細が聞けてよかった。</p>
<p>■ 自然との共生を踏まえた 防災・減災の状況や方法論について、ハードウェアは、何の目的で、また、初期の機能を果たす為にどのような維持管理を行うかを、住民に周知させる活動。</p>
<p>■ 基調講演のため仕方がないかもしれませんが、評論的になりすぎていたように思います。もう少し具体策等も話して頂きたかった。パネルディスカッションでは具体性、具体策も発表され、大変良かったです。</p>
<p>■ 平日の水防活動が大変であると感じた。消防団の弱体化が問題であると感じた。</p>
<p>■ 開催時期もう少し早い月で、</p>
<p>■ 非常に良かった。</p>